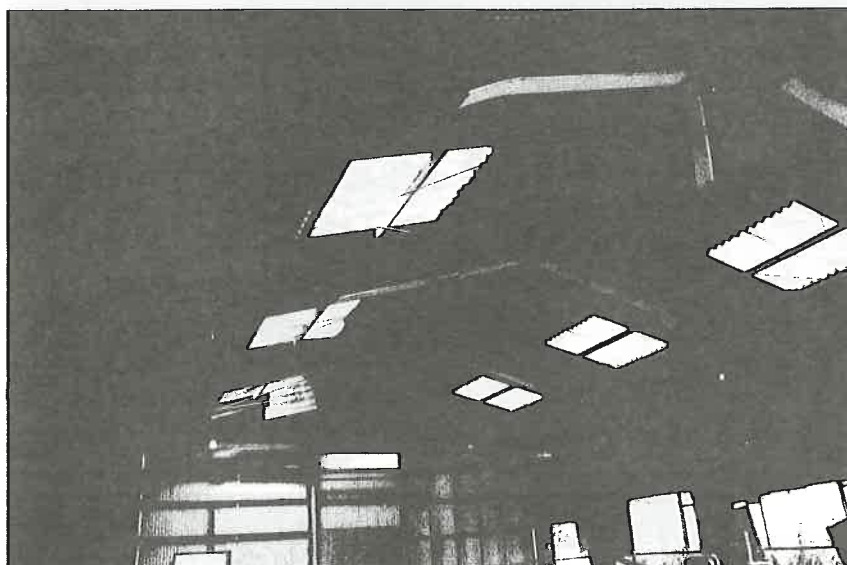
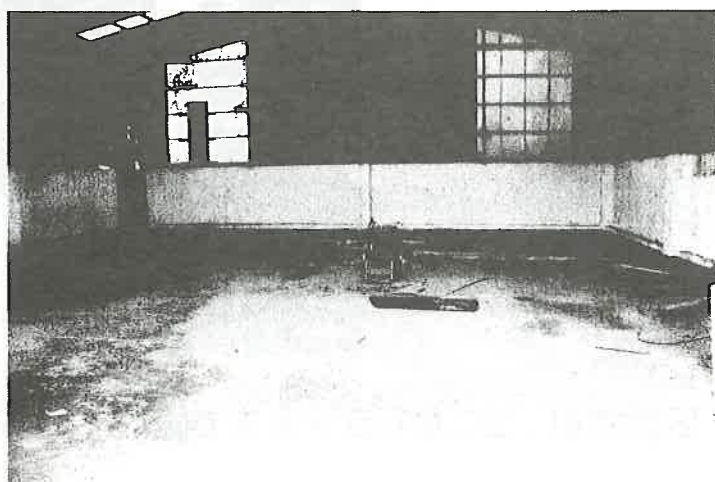


狩宿
(旧印刷工場)

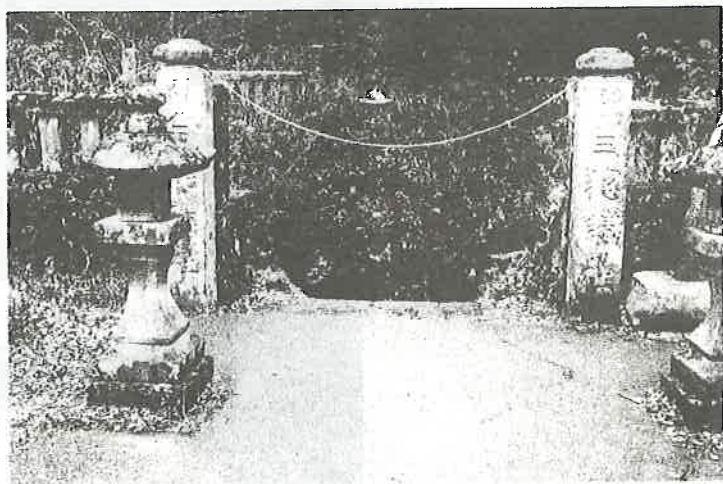
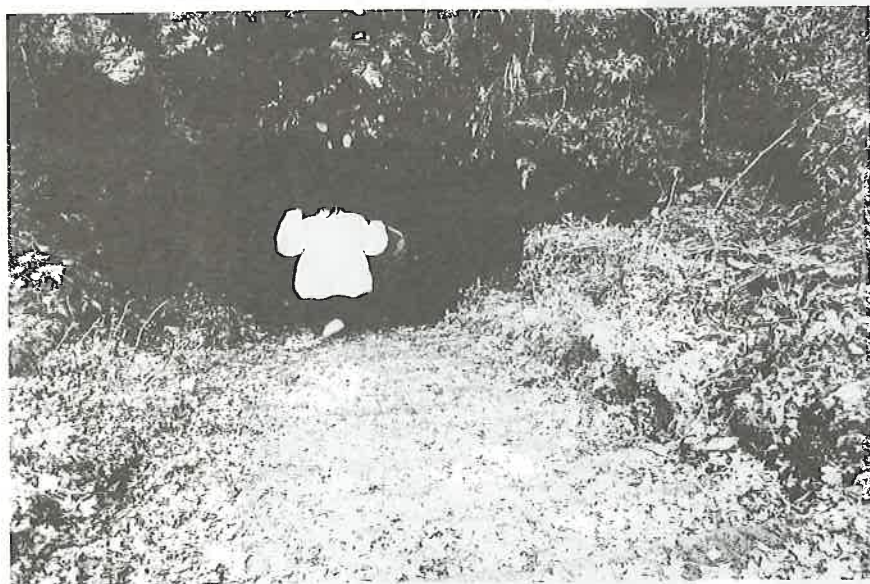


5

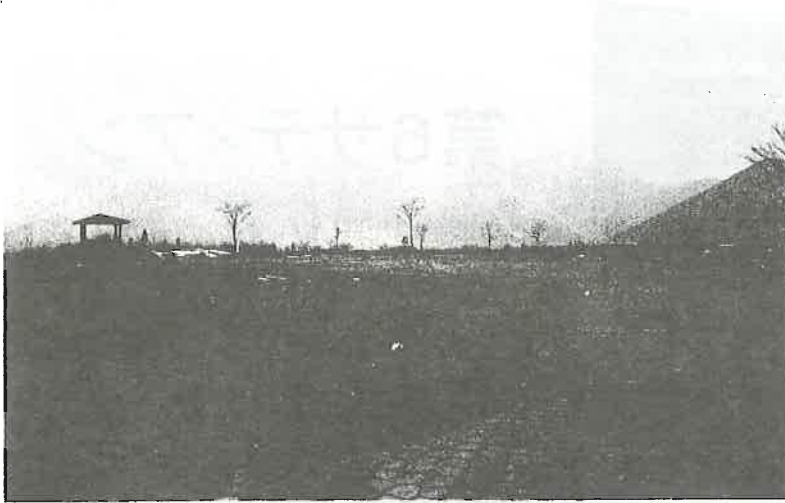


唯一残されていた、オウム使用施設

人穴



伝説では、ここから江ノ島まで続いているそう。



第2サティアン

慰霊碑は、
何を訴えているのか

④





第6サティアン

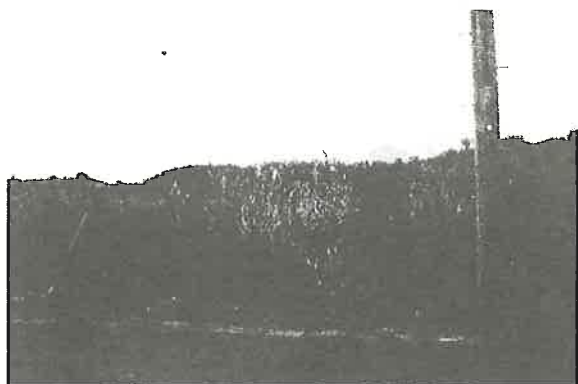


②

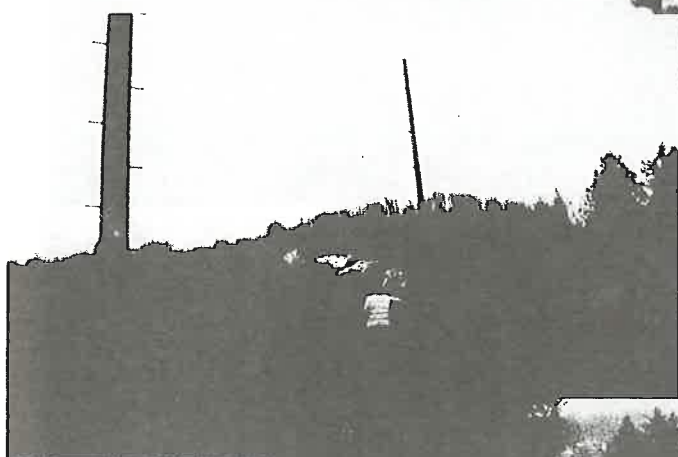
まったく、
なんにもない



サリンプラントで使用していた、配管吊り具を発見！



第7サティアン



第10サティアンへ上る坂

⑦





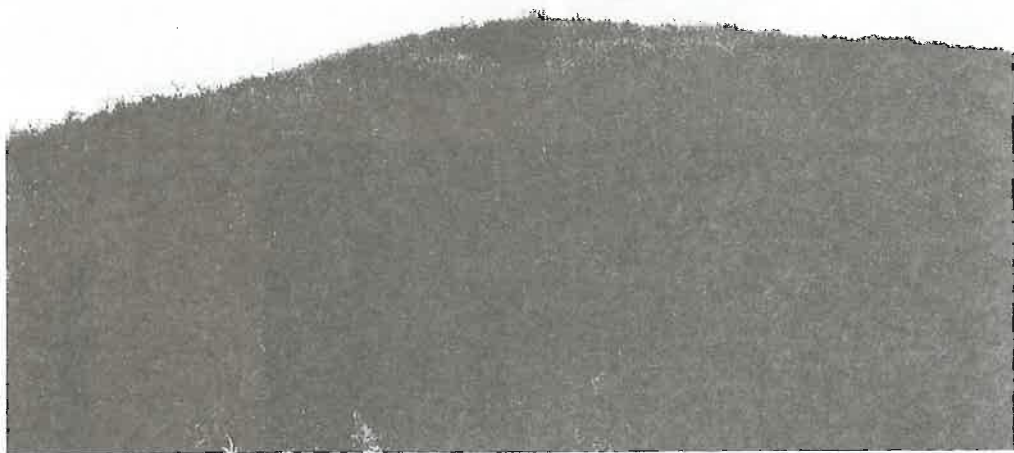
第8サティアン



松本サリン事件の噴霧車は、
ここで作られた

第13サティアン

(1)

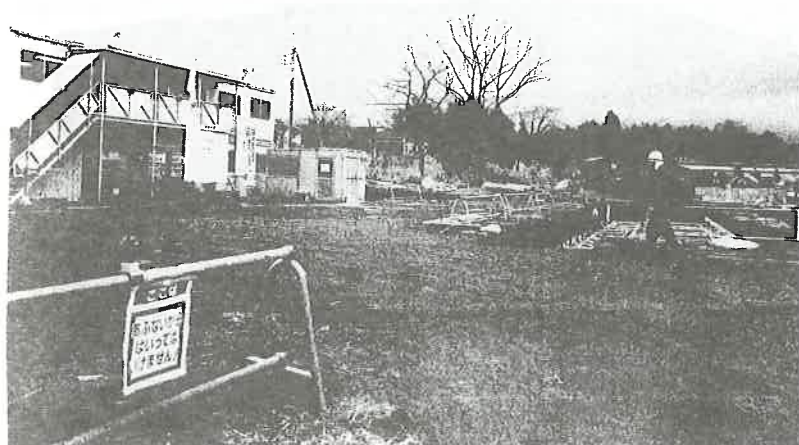


お山の上で記念撮影
(プライバシーのため、顔は隠しています)

富士総本部道場



⑥



盲導犬訓練施設を建設中



富士宮図書館



本を借りたままになっている… すいません

富士宮市立図書館

2005年12月にカナリアの有志で富士宮・上九旅行に行ってきました。

私の希望で富士宮市立図書館にも寄ってもらいました。この図書館にはすごい愛着があるので行きたかったのです。地方の図書館なので広くて、1989年3月に出来たので当時はまだ新しくとてもお気に入りの場所でした。2階に視聴覚(AV)コーナーがあるのをご存知でしょうか？ここには映画のレーザーディスクがたくさん置いてあって、たまに利用していました。ここで『ビバリーヒルズ・コップ』を見たのを今でも覚えています。この映画のテーマ曲「アクセル・F」が耳にこびりついてしまい、上九に帰ってからもしばらく口ずさんでいたものです。

もちろん、サマナは映画を見るのは戒律違反で禁止でした。私の知り合いのサマナも利用している人がいたのですが、その人が言っていたのですが、彼がそこを利用しているとき、〇ルヴェーラ・カッサパさんもここで何か観ていて、目が合ったと話していました。まあ、彼の場合、映画とかを観ていたのではなくて、音楽関係のワークとかのために利用していたのかもしれませんがね。

〇ルヴェーラ・カッサパさんで思い出すのは、私が出家したばかりの頃、急にサマナ全員持ち物検査をすることになって、私の検査は〇ルヴェーラ・カッサパさんが担当したのですが、私は家から父親の使っていたハンドバッグを持ってきた

のですが、○ルヴェーラ・カッサパさんがあっちこっち調べていると、タバコにつけて吸うパイプが入っていました。私はタバコを吸わないので父親のものが入っていたのでしょう。一瞬、私もそうですし、○ルヴェーラさんも固まった様子でした。これは誤解されているな、どう説明すればいいだろうと考えてしまいました。しかし、○ルヴェーラさんはとくにそのことに触れてきませんでした。またバックの別のところから中身のもう入っていない飴の包装紙が2つ出てきました。これも私のものではありません。一瞬あせってしまいました。○ルヴェーラさんはやさしい感じで「こういうのは捨てておくように」と言いました。私は、いろいろ説明しても、見苦しい言い訳をしているとしか思われないうだろうと考え、とくに何も反論せず、黙っていました。ただ心の中で「私のじゃないのに…」と思っていました。この頃は出家したばかりで純粹だったのでこんな風に思っていたのでしょう。

○ルヴェーラさんは麻原さんに対しても意見を言うようなちょっとひねくれた存在だったようですので、まだ人間的な温かみのある柔軟なタイプだったので、こういう対応をしてくれたのでしょう。その後、彼とはほとんど接する機会はありませんでした。面白い人らしいので、ちょっと残念でしたね。

そういえば、サマナのお祭りみたいなイベントのとき、○ルヴェーラさんが都はるみの「北の宿から」の冒頭の「あなた 変わりはないですか〜♪」をもじって「アナハタ変わりはないですか」と言って、みんなを笑わせていたこともありましたね。

元 サ マ ナ

「お山について」

本号は、富士宮と上九一色村富士ヶ嶺のり探訪を、写真で報告しました。

現地の人のなかには、変に思われた方もいたかもしれません。申し訳ないです。以前カナリヤ有志で行ったときには、脱走して村の人に助けられた方もいて、まさにお世話になっていたのに、菓子折りをもって地区の役場とお世話になった方に、御礼とお詫びもかねて言ったのですが、今回はまさに探訪のみ、としました。

1ページの狩宿は、現役さんではむしろ知らない人が多いだろう、後の第5サティアンだったか印刷工事用ができるまでは、ここでマハーヤーナなども印刷していたものです。写真⑤とあるところのたてものには、途中中2階を作り、麻原さんの居所としたこともあったとのこと。なんと1995年3月のかくれんぼだけでは無かったのですね、バイブレーションが悪くないのかなあ。

3ページの「慰霊塔」は、地下にマイクロ波での遺体焼却装置があったあたりに位置すると思う。多くの人の遺体がここで何日もかけて焼かれた。今は公園。頭をたれることしかできない。

6ページの写真にある建物はオウム真理教とは関係ないです、この家は確か借家になっていて、オウムがやたら大きい質細長い建物を作り、そのすぐそばだったので、引っ越してしまわれていた。

7ページの写真の地点は、上九の全体を見回せるところです、ここに塔のような建物を幾つも作っていた。建設中、落ちた人がいたが、偶然と遠くから村の人が見ていて知り、みな心配していたのですが、そんなことをサマナらは知りもしなかっただろう。

9ページからの図書館は、窓口は初めてでした。へっ、そんなことがあったのか、と。本は返しましょう、返せなかったら賠償しないと、それも清算の一つ。

ではっ。

- 1 p 君は知るか、狩宿の旧印刷工場
- 2 p 人穴神社に寄ったことがあることも少なくないようで
- 3 p 第2サティアン(第1上九)跡地—慰 霊 塔
- 4 p 第6サティアン(第2上九)跡地—何も無い
- 5 p 第7、10サティアン跡地—配管吊り具
- 6 p 第8、12サティアン跡地—ウレタンなどを作っていたところ
- 7 p 第13サティアン跡地—ここを知っている人はまずいまい、サリン
保管用のポリタンクが大量に置かれていたところ
- 8 P 富士山総本部道場跡地—1988年だったか、瓦基金と建設
- 9 P 富士宮市立図書館—「データ」は人類の宝なのかも
- 10 p ~ 手記—富士宮市立図書館
- 12 p 窓口—「お山について」

発行 カナリヤの会

〒242-0021

神奈川県大和市中心 2-1-15 パークロード大和ビル2階

大和法律事務所 窓口 滝本太郎 気付

電話 046-263-0130 ファックス 046-263-0375 takitaro@yha.att.ne.jp

横浜銀行大和支店 普通 1343078 カナリヤの会 滝本太郎